

令和7年度 信頼される学校であるための行動計画

県立四日市南高等学校

生徒・保護者等をはじめ、広く県民から信頼される学校であるためには、私たち教職員自身が教育に携わる者としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底するとともに、自らを厳しく律していくことが大切です。

1 本校の現状と課題

本校は全日制普通科の大規模校で、ほぼ全ての生徒が大学進学を目指します。教職員の年齢構成は、ベテラン層の比率が高くなっています。生徒・保護者等からの進路実現や充実した学校生活への期待は高く、それに応えるため、年6回の個人面談をはじめ、きめ細やかな学習支援、進路希望実現に向けた支援を実践しています。これを踏まえ、服務規律確保のための啓発を推進するとともに、教職員が心身ともに健康で前向きに業務に取り組める仕組や学校運営の在り方を検証・改善していく必要があります。

2 行動計画

(1) 教職員の服務規律確保のための啓発

- ・各自の自己目標設定において、コンプライアンスに関する項目について記載し、管理職との面談時に確認します。
- ・自らの行動を確認するため、教職員対象のアンケート（「危機管理・コンプライアンス確保のためのチェックリスト」）を年3回（6月、11月、1月）実施します。
- ・生徒の安全・安心な環境づくりや、教職員の啓発のために、生徒対象のアンケート（「学校生活アンケート」）を年2回（7月、12月）実施します。
- ・服務規律の確保や法令遵守の意識向上のために、コンプライアンスミーティングを年1回（4月）以上実施します。
- ・ホームページ、公開授業等により学校の取組を可視化するとともに、学校関係者評価委員やPTA役員の意見を聴取します。

(2) 教職員が心身ともに健康で前向きに業務に取り組める職場づくり

- ・心配で、気になる内容について、速やかに相談・報告し、判断・対処できる職場づくりを進めます。
- ・業務軽減と教育効果の充実につながるICTの効果的な活用を進めます。
- ・定時退校日（月1回）、部活動休養日（週1日以上）、学校閉校日を設定するとともに、会議時間の短縮を図り、教職員が心身の健康を保持しながら、やりがいを持って、意欲的に職務に専念できる環境づくりを進めます。